

## 平成27年度 仙台大学大学院 授業概要

<b>授業科目名</b>	学校ヘルスケア特講		<b>担当教員</b>	鹿野裕美／新井猛浩			
<b>領域水準コード</b>	A2,B2	<b>単位数</b>	2単位	<b>履修方法</b>	養護教諭:選択必修	<b>授業の方法</b>	講義
<b>授業の概要</b>							
<p>本授業は、養護教諭が行うヘルスケア(健康支援)に関する理論およびその実際を理解した上で、複雑化かつ多様化する児童生徒の現代的な健康問題の解決に向けた学校ヘルスケアの展開について考究する。</p>							
<b>授業の一般目標</b>							
<p>養護教諭の活動に関する理論について理解した上で、児童生徒の心身の健康課題の支援のあり方について文献抄読やフィールドレポート等を分析し、学校ヘルスケアの現状と課題について考察する能力を身につける。</p>							
<b>授業の到達目標</b>							
<input checked="" type="checkbox"/> <b>認知的領域</b>	養護教諭の活動に関する理論を理解した上で、心身の健康課題に対する、根拠に基づく学校ヘルスケアの概要について理解できる。						
<input checked="" type="checkbox"/> <b>情意的領域</b>	文献抄読やフィールドレポートをふまえ、学校の子どもたちの心身の健康課題へのケアの展開を考察できる。						
<input type="checkbox"/> <b>技能表現的領域</b>							
<b>授業計画(全体)</b>							
<p>各授業ではテーマに沿った資料等を用いての講義が中心となるが、グループワークやディスカッション等による参加型の授業も積極的に行う。さらに、課題レポート等の発表も行い、自らの問題意識を明確にしなが、その解決策を考察していく。</p>							
<b>授業計画(詳細)</b>							
回	授業テーマとその内容						
1	[テーマ] オリエンテーション [内容] 担当教員の紹介、授業の目標と進め方、シラバス説明、成績評価の方法について説明する。	9	[テーマ] 児童生徒の現代的な健康課題に対するケアの実際(1) [内容] フィールドレポート等により、社会の変化に伴う児童生徒の心身の健康問題の現状とその背景を理解し、その解決に向けた養護教諭の支援のあり方を考える。				
2	[テーマ] 学校ヘルスケアとは [内容] 学校で行われるヘルスケアの概要について説明する。	10	[テーマ] 児童生徒の現代的な健康課題に対するケアの実際(2) [内容] フィールドレポート等により、社会の変化に伴う児童生徒の心身の健康問題の現状とその背景を理解し、その解決に向けた養護教諭の支援のあり方を考える。				
3	[テーマ] 養護教諭の活動とヘルスケア(1) [内容] 養護教諭の専門性に関する諸理論をふまえ、健康支援活動について掌握する。	11	[テーマ] 児童生徒の現代的な健康課題に対するケアの実際(3) [内容] フィールドレポート等により、社会の変化に伴う児童生徒の心身の健康問題の現状とその背景を理解し、その解決に向けた養護教諭の支援のあり方を考える。				
4	[テーマ] 養護教諭の活動とヘルスケア(2) [内容] 養護教諭の専門性に関する諸理論をふまえ、健康支援活動について掌握する。	12	[テーマ] 児童生徒の現代的な健康課題に対するケアの実際(4) [内容] フィールドレポート等により、社会の変化に伴う児童生徒の心身の健康問題の現状とその背景を理解し、その解決に向けた養護教諭の支援のあり方を考える。				
5	[テーマ] 児童生徒の心身の健康問題とヘルスケア(1) [内容] 文献の抄読等により学校における児童生徒の心身の健康問題の現状とその背景を理解し、根拠に基づく健康支援のあり方について考える。	13	[テーマ] 児童生徒の現代的な健康問題の解決に向けて(1) [内容] ケースメソッドを通して、児童生徒の現代的な健康問題の解決方法を探究する。				
6	[テーマ] 児童生徒の心身の健康問題とヘルスケア(2) [内容] 文献の抄読等により学校における児童生徒の心身の健康問題の現状とその背景を理解し、根拠に基づく健康支援のあり方について考える。	14	[テーマ] 児童生徒の現代的な健康問題の解決に向けて(2) [内容] ケースメソッドを通して、児童生徒の現代的な健康問題の解決方法を探究する。				
7	[テーマ] 児童生徒の心身の健康問題とヘルスケア(3) [内容] 文献の抄読等により学校における児童生徒の心身の健康問題の現状とその背景を理解し、根拠に基づく健康支援のあり方について考える。	15	[テーマ] 児童生徒の現代的な健康問題の解決に向けて(3) [内容] ケースメソッドを通して、児童生徒の現代的な健康問題の解決方法を探究する。				
8	[テーマ] 児童生徒の心身の健康問題とヘルスケア(4) [内容] 文献の抄読等により学校における児童生徒の心身の健康問題の現状とその背景を理解し、根拠に基づく健康支援のあり方について考える。	16	[試験または課題] レポート試験 [方法] 授業の理解度、到達度を確認するためのテストを行う。				
<b>授業外学習の指示等</b>							
<p>1)平成20年1月、中央教育審議会スポーツ青少年部会学校健康安全部会より出された答申「子どもの心身の健康を守り、安全・安心を確保するために学校全体としての取り組みを進めるための方策について」を精読し、学校保健安全法についても掌握する。さらに、学校保健や養護教諭の活動を理解し、さらに現代の子どもの心身の健康課題を把握するために、学校でのボランティア活動などを積極的に行い、自らの問題意識を明確にすることが望ましい。</p>							
<b>成績評価方法(方針)</b>							
<p>期末試験(評価割合50%)を予定している。また、授業内のレポート(評価割合20%)、授業外のレポート(評価割合20%)、ポートフォリオ(10%)等を総合的に評価する。</p>							
<b>成績評価方法(詳細)</b>					<b>履修上の注意(受講に当たって学生に望むこと)</b>		
到達目標	認知的領域	情意的領域	技能表現的領域	評価割合(%)	授業の実際にあっては若干授業計画の変更もある。		
定期試験(期末試験)	◎	○		50			
小テスト・授業内レポート	○	◎		20			
授業外のレポート	○	○		20			
ポートフォリオ	○	○		10			
出席							
その他							
<b>関連科目</b>							
<b>教科書</b>				<b>参考書</b>			
特に指定しない				適宜紹介予定			
<b>連絡先</b>							
小濱:A314, ak-kohama@sendai-u.ac.jp							